

## 多様な光源により進展する光プロセスの基礎と応用

*Variety of light sources and possibilities of their applications to novel light processing*

**開催日時: 2017年3月15日(水) 13:30~ (終了時刻は未定)**

**場所: パシフィコ横浜**

新規光源の開発は、従来の光プロセスの問題解決や新しいプロセス技術の発展に大きく貢献してきました。しかし、多くの場合、新規光源の発明から光プロセスへの応用まで時間を要してしまいます。その理由として、光源が容易に入手できないこと、光源開発の研究者と光プロセスの研究者の間に情報や技術のギャップがあること、が挙げられます。これらがハードルとなり、光プロセスにおける新規光源の価値の発見が遅れると、光源の普及や新たな材料・デバイスの創出が妨げられます。

そこで、光源開発研究者と光プロセス研究者との間に情報交換と議論をする場を作るために、本シンポジウムを企画しました。多様な光源の開発と光プロセス応用に焦点を当てた講演により、様々な分野の研究者・技術者が刺激を受け、新しい光プロセス創出のきっかけができることを期待しております。

### [招待講演者(五十音順, 敬称略)と仮題]

- 尾松孝茂(千葉大)  
「トポロジカル光波の発生と物質プロセッシングへの応用」
- 佐野 智一(大阪大)  
「フェムト秒レーザー衝撃圧縮初期過程の格子ひずみのXFEL計測」
- 平等 拓範(分子研)  
「高強度マイクロチップレーザー開発と応用」
- 田中耕一郎(京大)  
「高強度テラヘルツ波発生 of 進展と物質プロセッシング応用への可能性」
- 鳥塚 健二(産総研)  
「超短パルスレーザーの開発と物質プロセッシングへの応用」
- 牧村 哲也(筑波大)  
「レーザープラズマ極端紫外光による微細加工」

世話人: 坂倉政明(京大)、佐藤正健(産総研)、細川陽一郎(奈良先端大)